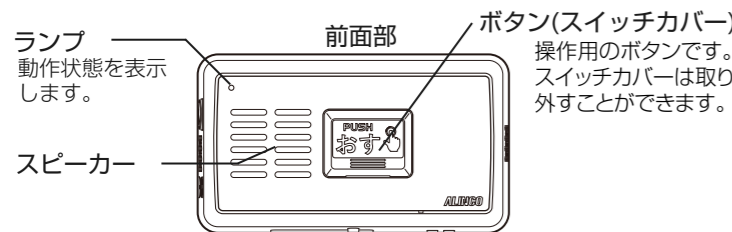
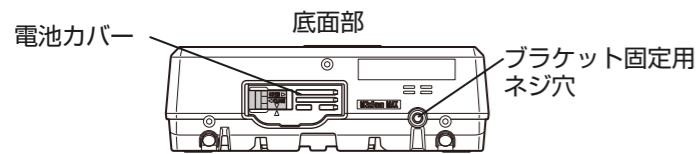
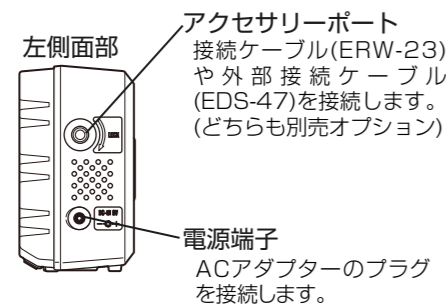
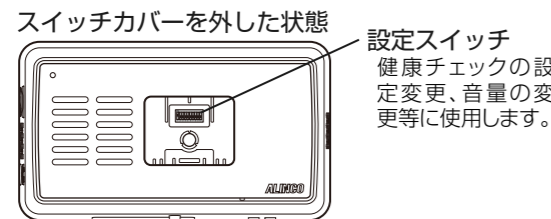


各部の名称



メモ 本書ではスイッチカバー部品が装着された状態をボタンと呼びます。

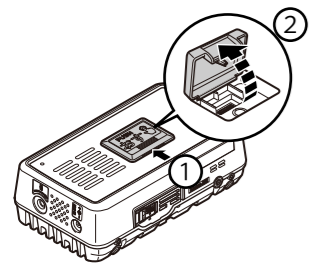


スイッチカバー(カバー)の脱着

本書の「設定スイッチの操作と機能」の設定を変更するときにカバーを取り外します。

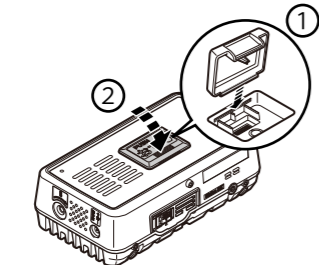
カバーを取り外す

- ① 本体の前面部を上にして机の上などに置き、カバーの溝に指を引っ掛けます。
- ② カバーの溝に引っ掛けた指を持ち上げるとカバーが外れます。



カバーを取り付ける

- ① 右図の溝にカバーの突起部を斜めに入れてカバーを引っ掛けます。
- ② 「カチッ」という音がするまでカバーを下側に押し込みます。

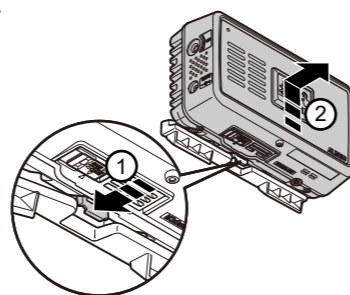


ブラケットを壁に取り付けて使用する方法

ブラケットを本体から取り外す

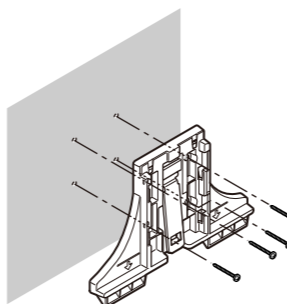
※ブラケットは本体に取り付けられた状態で梱包されています。

- ① 本体に取り付けられているブラケットの金属レバーを下げます。
- ② ブラケットの金属レバーを下げながら、本体を上へスライドして引き抜きます。



ブラケットを壁に取り付ける

付属のブラケット取付ネジ(黒色 M3×12)を使用して壁に取り付けてください。
※ネジの取付けには適切なプラスドライバーをご用意ください。

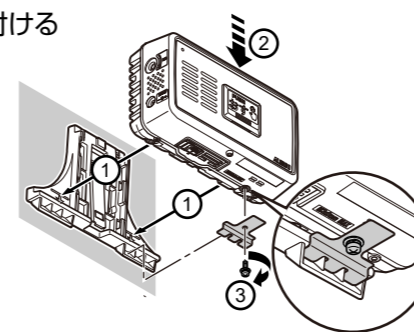


注意

- ・直射日光が当たる場所や、空調装置の近くなどでは誤動作することがあります。本機は防水防塵仕様ではありません。屋内に設置してください。
- ・ブラケットを取り付けるネジは付属のものを使用してください。取り付けるときにブラケットと壁の間に隙間がないようしっかりと固定してください。定期的にネジにゆるみがないか、落下するおそれがないかを点検してください。
- ・付属のネジ(ブラケット取付ネジ)は木製の壁に取り付けるためのネジです。コンクリートなどは付属のネジで取付けができません。内装業者などにご相談いただくか、コンクリートなどに適合する止め金具やネジ類(規格 M3、ナベ頭10mm以上推奨)を別途お求めください。弊社では取付けに関するご相談は承っておりません。

ブラケットに本体を取り付ける

- ① ブラケットに印字されている2箇所の「マーク」と本体の底面を合わせる。
- ② 本体を「カチッ」と音がするまでスライドさせます。
- ③ ブラケットから本体が外れて落下しないよう同梱のロックプレートと落下防止ネジで固定します。ロックプレートの穴と本体底面のネジ穴を合わせ、落下防止ネジ(銀色 M3×6)を閉めてください。勝手に取り外すなどのイタズラ防止にもなります。

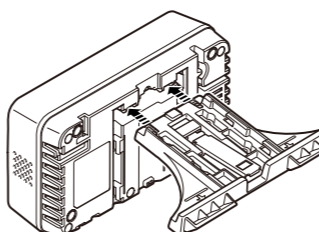


ブラケットをスタンドとして使用する方法

本体のブラケットはスタンドとしてもご使用いただけます。ブラケットを壁に取り付ける方法と使い分けてご使用ください。

スタンドとして取り付ける

- ① ブラケットの金属レバーがある面を上にしてを図のように背面のスリットに合わせます。
- ② 斜め上方向に「カチッ」と音がして止まるまでブラケットを押し込みます。
- ③ 安定した水平の台に置き、がたつきがないか確認します。正しく取付できていないとブラケットが外れて転倒し故障の原因となります。



ブラケットを取り外す

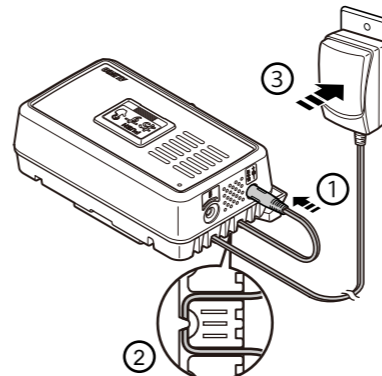
本体をしっかり手で持って、ブラケットを左右に軽く動かしながら引き抜きます。

注意

- ・まっすぐ引き抜こうとすると、勢い余って本体やブラケットを落下させてしまう危険があります。不要な抜き差しを繰り返すとゆるみの原因になります。

ACアダプターの接続方法

- ① 電源端子にACアダプターのプラグを接続します。
- ② プラグの抜けを防止するため、ケーブルを本体背面のスリットへ押し込みます。
- ③ ACアダプターをコンセントに接続すると、自動的に電源が入ります。
※電源を切る場合は、ACアダプターをコンセントから抜きます。



※L字変換ケーブルをご使用になると、ケーブルを這わせやすい場合があります。また、ACアダプターだけではコンセントまでの長さが足りないときにもご使用いただけます。取付方法は本体の電源端子とL字変換ケーブルのプラグを接続した後、L字変換ケーブルのソケットとACアダプターのプラグを接続してください。

注意

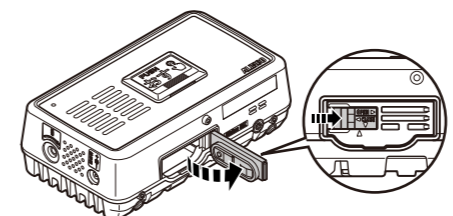
- ・弊社指定のACアダプター以外は接続しないでください。故障や事故の原因となります。
- ・本機を長期間使用しないときはACアダプターを取り外してください。取り外すと電源が切れます。

電池の取付け方法

ACアダプターの代わりに別売の単三形アルカリ乾電池または単三形リチウム乾電池2本が使用できます。

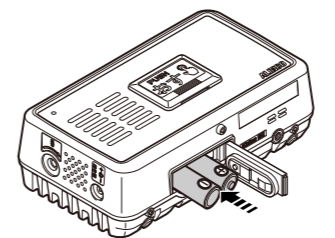
①電池カバーを開ける

ロックレバーをOPEN側へスライドさせながら電池カバーを開けます。



②電池を入れる

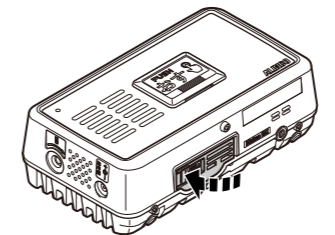
単三形乾電池2本を図の向きにして入れます。



③電池カバーを閉める

電池カバーを「カチッ」と音がするまで、押し込んで閉めてください。本機の電源が入ります。

※電源を切るときは電池カバーを開けて、電池を取り外します。本機に電源スイッチはありません。



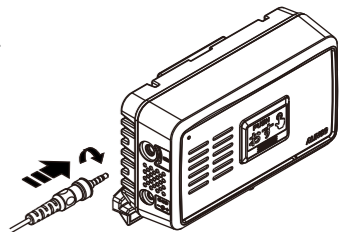
注意

- ・マンガン乾電池とニッケル水素充電電池は使用しないでください。動作不良の原因になります。
- ・リチウム乾電池はアルカリ乾電池よりも長持ちします。
- ・電池は同じメーカーの新しいものをご使用ください。必ずアルカリ乾電池またはリチウム乾電池をご使用ください。
- ・長期間使用しないときは液漏れを防ぐため電池を取り外してください。
- ・使用状態、メーカー、種類の違う乾電池を混ぜて使用すると液漏れや発熱の原因になります。
- ・電池カバーを本体に取り付ける際にはホコリやごみなどが間に挟まらないようにしてください。

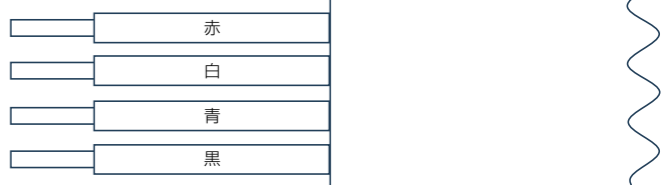
外部接続ケーブルと接続ケーブルの接続方法(別売)

外部接続ケーブル(EDS-47)

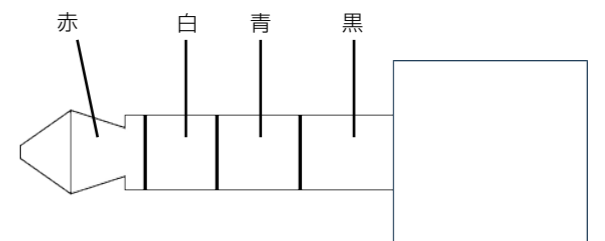
- ① アクセサリーポートに外部接続ケーブルのプラグを差し込んでください。
 - ② 外部接続ケーブルのプラグを時計方向(右)に回転が止まるまでねじ込んでください。差し込むだけでは正しく動作しません。
- ※取り外すときは反時計方向(左)に回しながら抜いてください。



外部接続ケーブルの端子側には赤、白、青、黒色の4点の端子が出ています。それぞれに対応するプラグ端子の割り当てを下記の図に示します。役割を下記の表に記載します。



外部接続ケーブルの端子側



外部接続ケーブルのプラグ側

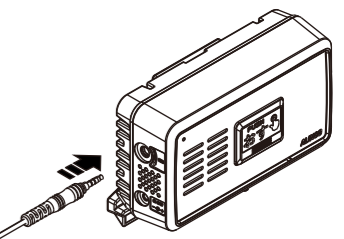
端子色	役割
赤	外部接点の+側端子(外部スピーカー端子)
白	なし
青	なし
黒	グラウンド

・外部接点検出機能および、外部スピーカーをご使用になる場合は赤色の端子と黒色の端子をご使用ください。

注意 接続ケーブルの端子側にマグネットスイッチやスピーカーなどを接続するとき、必要がない端子はニッパーで切り落とすか他の場所にショートしないようにカバーを取り付けるかして対策してください。誤動作や発火の可能性があります。

接続ケーブル(ERW-23)

アクセサリーポートに接続ケーブルを差し込んでください。奥まで差し込まないとパソコンと通信できません。パソコンとの接続については別途インターネットで掲載されている詳細取扱説明書をご確認ください。



付属品

付属品をご確認ください。

- ブラケット
- 落下防止ネジ 1本(銀色)
- ACアダプター(EDC-323)
- 注意と取り付けについて(本書)
- 取扱説明書(「見守り定期便2」の操作について)
- ブラケット取付ネジ 4本(黒色)
- ロックプレート
- L字変換ケーブル
- 保証書

※欠品や製品異常があるときは、まずご購入された販売店にご相談ください。
※本製品の保証は上記の付属品のみ適用されます。
別売オプションはその製品の保証規定に準じ、保証書が同梱されないものはお買い換えや修理が必要です。

「見守り定期便2」の操作について

PS1091 FNFH-NF

1.概要

「見守り定期便2」は、本機をご使用の方がボタンを押すと、あらかじめ登録されたEメールアドレスに定型文のお知らせを発信するサービス用の端末です。定時確認、再確認、未確認の他、ボタンの長押しでボタン通知を設定したアドレスに発信できます。確認時間や回数は本機をご使用の方のライフスタイルに合わせて変更ができます。

■ご使用の前に

①本文中、「ボタンを押す」はしっかり一度押してすぐに指を離すことを指します。「ボタンを長押しする」は数秒間押し続けることを指します。

②「2.初期設定」項目の説明手順に沿って操作を行い「準備が完了しました。」と音声ガイドが流れることをご確認ください。通信できない状態では正しいサービスが受けられません。電波状況のよさそうな場所に移動しても正しく動作しないときはお買い上げの取扱店にご相談ください。

※設定スイッチで消音設定を有効にした場合、音声ガイド等の音が出ません。

■ランプ表示

電源が入っているときの状態です。

処理中	緑色点滅(節電のため自動消灯します)
送信	赤色3回点滅
待機状態	消灯
通信エラー	赤色点滅の連続
テストモード	緑色と赤色の交互点滅

ボタンを押したときにランプが点灯します。使用開始の設定時にランプが緑色にしばらく点滅する以外、電源が入っていても節電のためランプは消灯しています。起動時、ランプの赤色3回点滅ではなく、赤色点滅の連続の場合は通信エラーです。Eメールは発信されません。電波状況の良い場所に設置しなおしてください。

2.初期設定

「見守り定期便2」をご利用になるための初期設定についてご説明します。

(1)電波状況の良い設置場所を探します。

下記のような場所が適しています。ACアダプターをお使いの時は100Vのコンセントが必要になります。

・窓際 ・高い建物や山などの障害物に面していない場所

・電子レンジ、無線ルーターなどの電磁波を使う機器が近くにない場所
直射日光が当たる、湿気が多い、温度が零下になる、猛暑日のように暑くなるなどの場所はお避けください。

(2)電源を入れます。

本体下部の電源端子にACアダプターのプラグを接続するか電池を入れると電源が入り、ピーブ音が鳴り、ランプが緑色に点滅して、起動通知メールを送信します。その後、ランプが赤色3回点滅します。

電池とACアダプターの装着方法については別紙にて詳しく説明しています。

重要 起動通知メールの通信に失敗すると「通信できませんでした。装置を移動させて再度、電源を入れ直してください。」とお知らせして、ランプが赤色点滅を続けます。そのときはACアダプターをコンセントから抜くか電池を外すして、電波状況がよさそうな場所に移動して、上記の操作を繰り返してください。

(3)通信テストが終わります。

正しく起動通知メールが送信されていると、しばらくしてランプが赤色3回点滅し、「準備が完了しました。」と音声ガイドでお知らせし、起動完了メールを送信します。しばらくすると節電のため、ランプの緑色点滅が消えます。初期設定はこれで終了です。

(4)一度電源を切って、本体の設定を行います。

本書裏面をご参照の上、健康チェックの案内時間、繰り返し、事前チェック、音量などの項目を使いやすくなるように設定してください。

(5)設置します。

別紙のイラストの取り付け方法を参照して、壁などにねじ止めます。

メモ ・電源スイッチはありません。ACアダプターをコンセントから抜くか、電池を外すと電源が切れます。お知らせのメールが送信できなくなるので、ランプが赤色点滅中は電源を切らないでください。
・毎日深夜0時ごろ、自動で時間補正の通信をします。初期設定時と同様の赤色3回点滅としばらく緑の点滅を最多で5回繰り返しますが異常ではありません。
・テストモードの時以外、電源を入れたときはこの項で説明した初期設定動作を行います。

3.健康チェック

健康チェック機能と本機の操作方法についてご説明します。後述の健康チェック、再チェック、未確認の動作を順番にします。送信するEメールの内容はカスタマイズされることがあるため、ここでは記載しません。設定スイッチでこのサイクルの繰り返し回数を変更することもできます。

◆健康チェック

初期設定では午前10時になると「健康チェックの時間です。お元気でしたらボタンを押してください。」と音声ガイドでお知らせして、今日の健康チェックを促す案内をしたことを伝える健康確認開始メールを登録されたEメールアドレスに発信します。

※健康チェック時間の変更方法は裏面でご説明します。

本機をご使用の方がボタンを押すとランプが緑点滅後、3回赤色点滅をします。その後、「健康確認メールを送信します。」と音声ガイドでお知らせし、健康確認メールを発信します。

・お知らせと同時に急いで押す必要はありません。再度健康チェックのご案内するまで10分間の待ち時間があります。

◆再チェック

上記の案内から10分が経過してもボタンが押されないとき、「健康チェックの再確認です。お元気でしたらボタンを押してください。」とお知らせします。ボタンが押されたら健康チェックと同じ動作をして、再チェック時に健康チェックが完了したことを健康確認メールにて発信します。

※健康チェック、再チェック時間中にボタンが押されたら本日分の健康確認チェックは終了します。

◆未確認

設定時間後の再チェックから10分が経過してもボタンが押されないと、本機をご使用の方が何の操作もされなかったことをお伝えする健康未確認メールを送信します。電話をする、近所の方に確認してもらうよう依頼する、などして「本機をご使用の方」の安全をご確認ください。

重要 災害などで基地局が被災したり、ネットワーク回線が非常に混み合ったりするとEメールが送れないことがあります。本サービスは、非常事態の際の安全確認を保証するものではありません。

4.熱中症注意喚起機能

あらかじめ設定された温湿度の条件を超過した場合、「一定の温度を超えました。」「一定の湿度を超えました。」もしくは「熱中症に注意してください。」とお知らせし、登録したEメールアドレスにメールを送信する機能です。条件設定は別途パソコンで行います。設定には別売の接続ケーブル(ERW-23)が必要です。別途インターネットに掲載されている詳細取扱説明書をご確認ください。

詳細取扱説明書は下記から無償でダウンロードできます。

<https://www.alinco.co.jp/> >電子事業部>ダウンロード

※設定ソフトのインストールと使用方法は詳細取扱説明書に記載しています。

■ボタン通知機能

ボタンを長押しすると「ボタン通知を行います。」と音声ガイドでお知らせし、本機周辺の温湿度と本機の電池電圧の情報が記載されたメールを登録されたEメールアドレスに発信します。

■Eメールソフトの受信セキュリティ設定

本サービスで送信されるEメールのアドレスは下記の通りです。受信用のメールソフトのセキュリティ設定で、このアドレスが受信できることをあらかじめご確認ください。

メールアドレス:
notification@alinco-sensorfox.com

■故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
音が出ない。 ランプが点かない。	電池が消耗している。 電池の向きを間違えている。	新しい電池と交換する。 「+/-」の表示に従って正しく装着する。
	ACアダプターから電圧が供給されていない。	プラグやACコンセントへの接続を確認する。
メールが来ない。	通信エラー 迷惑メールに入っている。 (Eメールの受信設定)	電波状況の良い場所に移す。 notification@alinco-sensorfox.comを受信許可する。
送信しない。	回線が混んでいる。	しばらく待って再送信する。

■アフターサービスについて

正しい使用状態で発生した故障は保証期間内であれば保証書に記載された内容で、保証対象外の場合は修理が可能な状態であれば有償で対応致します。電池の液漏れや、落としてケースが割れたなど過失による故障は保証期間に関係なく有償修理です。

修理やメンテナンス、通信障害などアフターサービスのご相談は初めにお申し込みの取次店にご相談ください。

フリーダイヤル ☎0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります
受付時間/10:00～17:00月曜～金曜
(祝祭日及び12:00～13:00は除きます)

Eメール:「アルインコ 電子 お問い合わせ」で検索して、弊社電子事業部HPのお問い合わせフォームをご利用ください。

あらかじめ設定されたEメールアドレスやメッセージの登録変更と、本サービスの延長申し込みについては別紙をご覧ください。

■プライバシーポリシーと利用規約

弊社電子事業部のプライバシーポリシーはこちらでお読みいただけます。

(<https://www.alinco.co.jp/files/user/electron/dl/privacypolicyAlinco.pdf>)

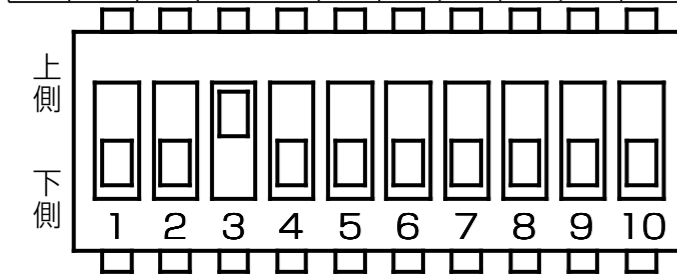
「見守り定期便2」サービスに関して、弊社は取扱店が弊社に開示する範囲のお客様の個人情報以外に、お客様の端末がアクセスしているSigfox基地局の位置情報を弊社が管理するクラウドから取得することができますが、設置場所を特定できる精度の位置情報を得ることはできません。

弊社が提供するSigfox関連製品とその通信サービスに関する利用規約は弊社電子事業部のSigfoxや本製品関連ページでお読みいただけます。

設定スイッチの各種機能

本機の設定スイッチを変更することで各機能を変更することができます。
本機のスイッチカバーを取り外し、設定スイッチ1～10を上側もしくは下側にすることにより、各種機能設定を切り替えることができます。

項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
テストモード設定	無効	有効	10時	有効	有効	有効	無効	大	無効	



※上記のイラストは工場出荷時の設定スイッチの状態（初期設定）です。

※設定スイッチ1、8、10は上側が有効、下側が無効です。設定スイッチ2、5、6、7は上側が無効、下側が有効です。

設定スイッチを変更する場合はボールペンのような先端の丸い物をお使いください。とがったものはスイッチの樹脂を削り、故障の原因となります。

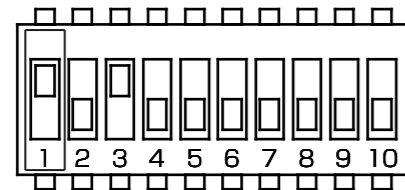
スイッチ設定変更操作

各機能の設定変更は本機の電源を切ってから行ってください。設定変更後、電池を入れるかACアダプターを接続すると電源が入りますので、そのときに設定変更が完了します。

注意 ・電源を入れたときは時刻補正を行うので、すぐにボタン通知などのボタンを使用する操作が使用できません。

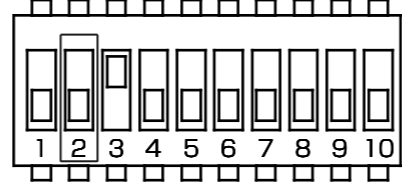
①テストモード設定

設定スイッチ1を上側にするとボタンを押す毎に音声ガイド一覧の①から⑧までの音声ガイドを再生します。
※通常の使用時は下側にしてください。
初期設定は無効(下側)です。



②健康チェック機能設定

設定スイッチ2を変更することで、健康チェック機能の有効/無効を設定できます。
初期設定は有効(下側)です。



③～④健康チェック時間設定

設定スイッチ3～4を変更することで健康チェックの設定時間を変更することができます。

設定時間	6:00	
設定スイッチ	3	4
	下	下

設定時間	8:00	
設定スイッチ	3	4
	下	上

※初期設定は10時です。

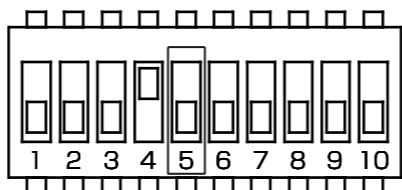
設定時間	10:00	
設定スイッチ	3	4
	上	下

設定時間	12:00	
設定スイッチ	3	4
	上	上

⑤事前健康チェック機能設定

設定スイッチ5を変更することで事前健康チェック機能の有効/無効を設定できます。

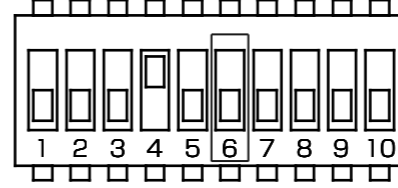
事前健康チェック機能の有効(下側)時は健康チェックの設定時間前にボタンを押すと健康チェックの設定時間になって「健康チェックの時間です。お元気でしたらボタン押してください。」と音声ガイドを行います。
初期設定は有効(下側)です。



⑥繰り返し案内機能設定

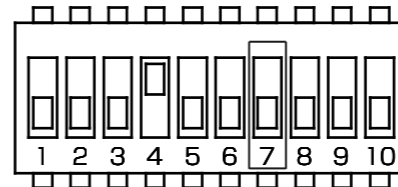
設定スイッチ6を変更することで繰り返し案内機能の有効/無効を設定できます。

繰り返し案内機能が有効(下側)の時は健康チェックの設定時間を過ぎててもボタンが押されなかった場合、2時間毎に「健康チェックの時間です。お元気でしたらボタン押してください。」と音声ガイドを行います。(午前12時まで繰り返し)
初期設定は有効(下側)です。



⑦熱中症注意喚起機能設定

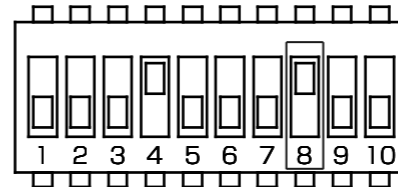
設定スイッチ7を変更することで、熱中症注意喚起機能の有効/無効を設定できます。
初期設定は有効(下側)です。



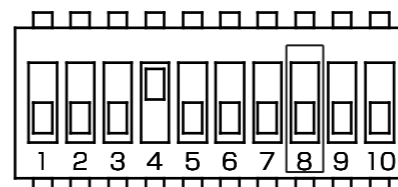
※詳細についてはインターネットに掲載されている詳細取扱説明書をご確認ください。

⑧外部接点検出機能設定

設定スイッチ8が上側の時、外部接点検出機能が有効になります。
※詳細については別紙をご確認ください。

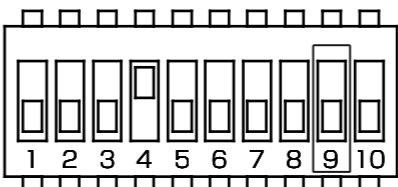


設定スイッチ8が下側の時、外部接点検出機能が無効になります。
初期設定は無効(下側)です。

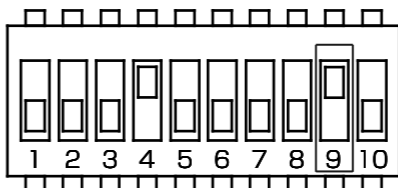


⑨音量設定

音声ガイド等の音量が変更できます。
設定スイッチ9が下側の時、音量設定が大きくなります。

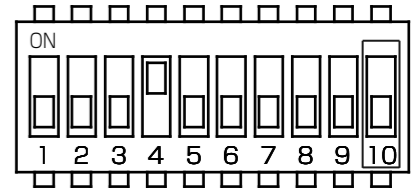


設定スイッチ9が上側の時、音量設定が小さくなります。
初期設定は大(下側)です。



⑩消音設定

音声ガイド等の音が出ないようにする機能です。
設定のスイッチ10を有効(上側)にすると音が聞こえなくなります。
初期設定は無効(下側)です。



音声ガイド一覧

※各種機能の動作をした時に流れる音声ガイドの一覧表を下記に記します。

各種機能	音声ガイド
①健康チェック	健康チェックの時間です。お元気でしたらボタンを押してください。
②健康再チェック	健康チェックの再確認です。お元気でしたらボタンを押してください。
③減電池警告	電池の残量が減っています。電池を交換してください。
④ボタン通知	ボタン通知を行います。
⑤通信エラー	通信できませんでした。装置を移動させて再度、電源を入れ直してください。

⑥健康チェック送信	健康確認メールを送信します。
⑦準備完了	準備が完了しました。
⑧熱中症注意喚起	熱中症に注意してください。

音声ガイド確認方法

テストモードに設定し、電源を入れ、ボタンを押す毎に①から順番に①～⑧までの音声ガイドの案内がされます。

定格

通信方式	Sigfox通信
送信出力	20mW以下
定格電圧	DC6.0V(ACアダプター使用時) / DC3.0V(単三形乾電池2本)
電池稼働期間	標準約1年 ※1日1回通信する場合
動作温度範囲	-20℃～60℃(ACアダプター) 5℃～45℃(単三型乾電池)
外形寸法	本体のみ: 150(W)×86.3(H)×49.2(D)mm
	ブラケット取り付け状態: 150(W)×99.5(H)×55.7(D)mm
質量	本体のみ: 約250g / ブラケット取り付け状態 約284g(電池除く)

・仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
・本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
・本書の内容を無断転載することは禁止されています。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

はじめに……

安全に正しくお使いいただくために操作の前には必ず別紙『安全上、取扱い上のご注意』をお読みください。
本書は DK-SF11CA（以降、本機と表記します。）の本体の設定や各機能を設定するツール [DKSF11_Writer_Alinco] の使用方法などをご説明します。

[DK-SF11CA システムに必要なもの]

- ・ DK-SF11CA 本体 と規定の乾電池や A C アダプター
- ・ パソコン (Windows10/11)
- ・ ERW-23 接続ケーブル (パソコン接続用/別売オプション)

設定ソフトを使い始める前に DK-SF11CA 本体の設定スイッチを操作する必要があります。
DK-SF11CA 付属の説明書とあわせて引き続きお読みください。

本資料の使用に関して……

本資料の内容は予告なく変更することがあります。
本資料の転載・複製に関しましては、当社の許諾が必要です。
弊社は本資料に記載されている情報などの使用に関して、当社もしくは第三者が所有する知的財産権、その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。本資料に記載されている情報などの使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、当社は一切その責任を負いません。

商標について……

アルインコの社名とロゴは国内外で商標として登録されています。
その他、記載の製品名、会社名は、それぞれの会社の登録商標や商標です。

設定ソフト [DKSF11_Writer_Alinco] をご使用になる前に……

設定ソフトをご使用になるにはパソコンの基本入力操作の他に、設定ソフトのダウンロード・インストール・メールの送信/受信といったパソコン操作と無線機に関する知識が必要になります。

アルインコのソフトウェアをご利用の前に、使用規約にご同意いただく必要がございます。使用規約はダウンロードサイトに掲示していますので、ご使用前に必ずお読みください。ご同意いただけない場合はソフトウェアの使用はお控えください。

URL : <https://www.alinco.co.jp/product/electron/soft/index.html>

目次

1. 設定手順	3
2. パソコンと設定ソフトの準備	3
2-1 設定ソフトのインストール手順.....	4
2-2 設定ソフトの起動と終了.....	5
2-3 接続ケーブルの接続方法.....	6
2-4 接続ケーブルのドライバーのインストール.....	6
2-5 設定ソフトのアンインストール手順.....	7
3. 本体の設定	8
3-1 設定スイッチ.....	8
3-1-1 設定スイッチの場所.....	8
3-1-2 設定スイッチ操作.....	9
3-1-3 設定スイッチ機能割り当て.....	9
4. 設定ソフトの機能と設定方法	11
4-1 ①COMポート選択.....	12
4-2 ②動作モード設定.....	12
4-3 ③環境状態通知条件.....	12
4-4 ④環境状態確認時間.....	13
4-5 ⑤気温.....	13
4-6 ⑥湿度.....	14
4-7 ⑦音量小.....	14
4-8 ⑧音量大.....	15
4-9 ⑨設定リセット.....	15
4-10 ⑩SAVE.....	15
4-11 ⑪File.....	15
4-12 ⑫設定開始.....	15
5. 設定データの書き込み	16
6. 編集した設定データの保存と読み出し	16
6-1 設定データ保存.....	16
6-2 設定データ読み出し.....	17
7. 外部接続ケーブル	18
7-1 外部接続ケーブル取付け方法.....	18
7-2 外部接続ケーブル仕様.....	19
8. 故障とお考えになる前に	20
9. 最適な設置場所について	20

1. 設定手順

本機を設置する前にDK-SF11CA システムを運用するための各種設定を下記の手順で行います。
各手順の詳しい操作方法はそれぞれの項目をご参照ください。

- (1) パソコンに設定ソフトをインストールします。(P.4「2-1 設定ソフトのインストール手順」)
- (2) パソコンに接続ケーブル(ERW-23)のドライバーをインストールします。(P.6「2-4 接続ケーブルのドライバーのインストール」)
- (3) 必要に応じて、本機の設定スイッチを変更します。(P.8「3. 本体の設定」)
- (4) パソコンと本機を接続します。(P.6「2-3 接続ケーブルの接続方法」)
- (5) 設定ソフトで本機の設定を行います。(P.11「4. 設定ソフトの機能と設定方法」)
- (6) 本機に設定データの書き込みを行えば設定完了です。(P.16「5. 設定データの書き込み」)

2. パソコンと設定ソフトの準備

用意したパソコンに設定ソフト[DKSF11_Writer_Alinco]をインストールします。
使用するパソコンのOSは下記を推奨しています。

Windows® 10 64 bit
Windows® 11 64 bit
(.NET Framework 4.5 以上)

注意

- ・OSを最新の状態で利用してください。
- ・すべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
- ・バックグラウンドで動作している他のアプリケーションが設定ソフトに影響を与える場合があります。
- ・ノートパソコンをご使用の場合は、パソコンをACアダプターにつないでご使用ください。
- ・パソコンの省電力機能により、正常に動作しない場合があります。

2-1 設定ソフトのインストール手順

ー 設定ソフトのダウンロード ー

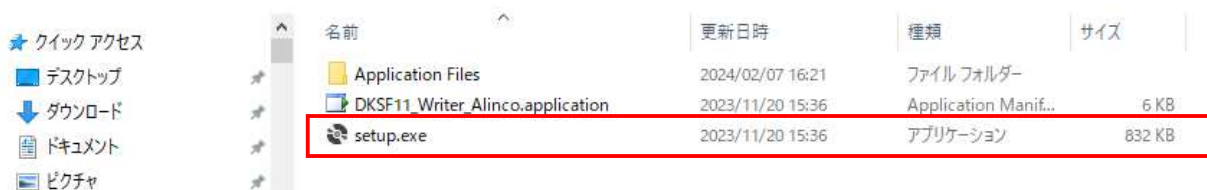
まずは、弊社ホームページより最新版の設定ソフトの圧縮ファイルをダウンロードしてください。

URL：<https://www.alinco.co.jp/> > 電子事業部 > ダウンロード

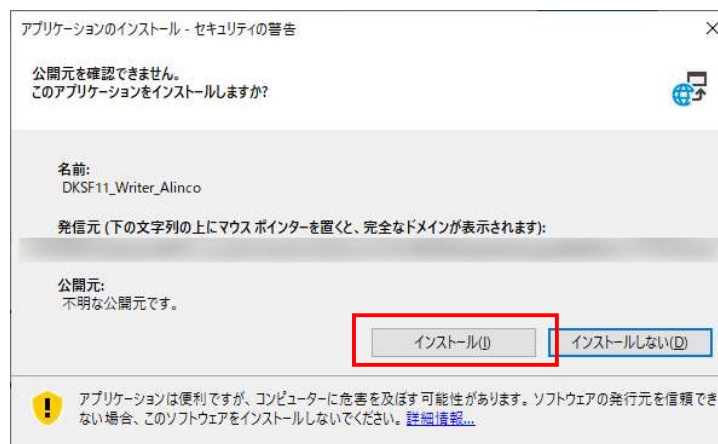
ダウンロード完了後、圧縮ファイルを解凍してください。圧縮ファイルは右クリックのメニューで解凍することができます。解凍できたファイルはお好きな場所に保存してください。

ー 設定ソフトのインストール ー

- ① 解凍したファイルを開き、「DKSF11_Writer_Alinco」フォルダの中から「publish」をクリックして「setup.exe」を実行してください。



- ② 下図の画面が表示されたら「インストール」をクリックします。



- ③ デスクトップにアイコンができれば完了です。



注意 ・インストールが完了した後、解凍したファイルはその場所から動かさないでください。ソフトウェアが正しく動作できなくなります。正しく動作しない場合は一度ソフトウェアをアンインストール後、再度インストールしてください。

2-2 設定ソフトの起動と終了

—起動方法—

パソコンにインストールした [DKSF11_Writer_Alinco] のショートカットをクリック(またはダブルクリック)すると、設定ソフトが立ち上がります。

※インストール作業時はインストール完了後自動的に起動します。



—終了方法—

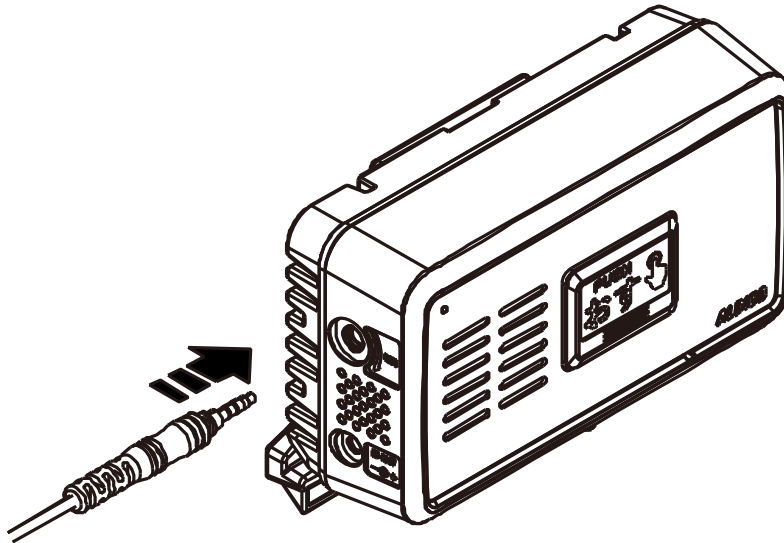
図の右上×ボタンを押すと、設定ソフトが終了します。

設定途中の場合、今まで設定していたデータは初期化されます。ご注意ください。

設定データの保存方法は P.16 の「6-1 設定データ保存」をご参照ください。

2-3 接続ケーブルの接続方法

本機のアクセサリポートに接続ケーブルを差し込んでください。しっかりと奥まで差し込まないとパソコンと通信できません。



2-4 接続ケーブルのドライバーのインストール

パソコンと接続ケーブル(ERW-23)を接続します。次に設定ソフトを起動します。ドライバーがすでにインストールされている場合は、設定ソフトを起動したときに下図の※に COM 番号が表示されています。空白の場合は、ドライバーがインストールされていない状態を示しています。



自動で接続ケーブルが認識されないときは下記 URL 先を参照の上、ドライバーソフトをインストールしてください。

URL : <https://www.alinco.co.jp/product/electron/soft/softdl03/index.html>

2-5 設定ソフトのアンインストール手順

設定ソフトが不要になった場合にアンインストールすることができます。また、設定ソフトが正しく動作しなくなった場合にも一度アンインストールをお試しください。ここでは Windows10/11 で設定ソフト [DKSF11_Writer_Alinco] のアンインストールする方法を記載します。

- ① キーボード上の Windows キー(下図の印字があるキー)を押すか、タスクバーにある下図をクリックすると、デスクトップの左側に[スタート]メニューが表示されます。



- ② [スタート]メニューの[設定]ボタンをクリックし、[設定]画面を開きます。



- ③ [設定]画面の[アプリ]の項目をクリックし、Windows10 の場合は[アプリと機能]を開きます。Windows11 の場合は[インストールされているアプリ]を開きます。



- ④ [アプリと機能]内で画面をスクロールして、下図のような [DKSF11_Writer_Alinco] の項目を探してクリックしてください。Windows11 の場合は[...]をクリックします。



- ⑤ [DKSF11_Writer_Alinco]の右下に[アンインストール]が表示されますのでクリックしてください。Windows11 の場合は[...]の下に表示され、アンインストールを2回クリックしてください。



- ⑥ 「このコンピュータからアプリケーションを削除します。」をチェックし、[OK]をクリックするとアンインストールされます。



3. 本体の設定

製品に同梱の説明書と合わせてお読みください。この節で記載の設定は電源を入れる前に行ってください。

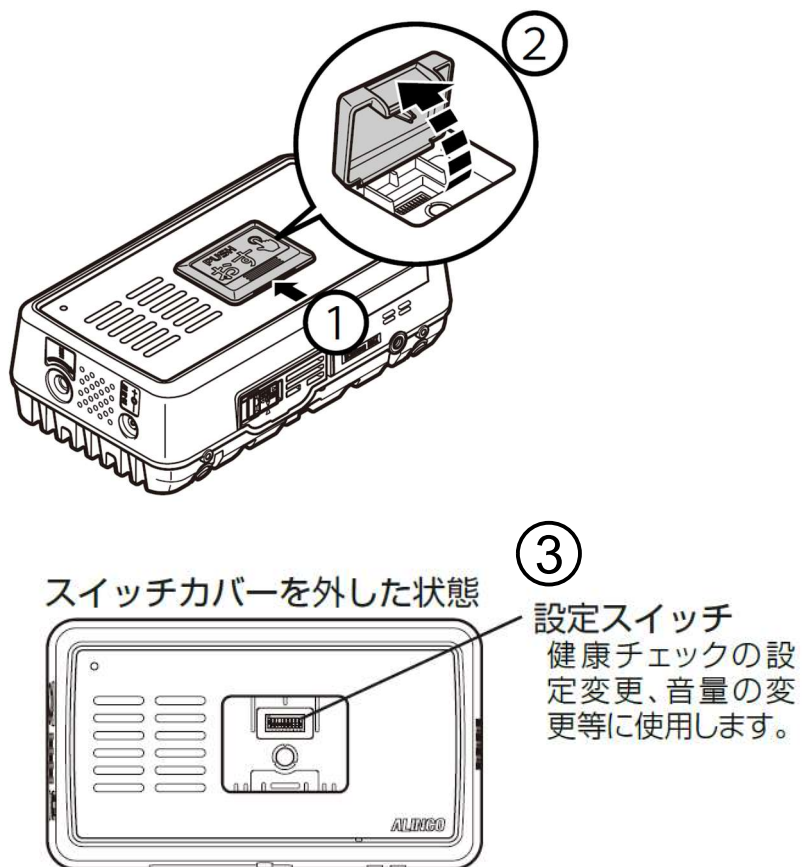
3-1 設定スイッチ

下記の設定は本体についている設定スイッチで行います。

- ・テストモード設定
- ・健康チェック機能設定
- ・健康チェック時間設定
- ・事前健康チェック機能設定
- ・繰り返し案内機能設定
- ・熱中症注意喚起機能設定
- ・外部接点検出機能設定
- ・音量設定
- ・消音設定

3-1-1 設定スイッチの場所

- ① 本体の前面部を上にして机の上などに置き、スイッチカバーの溝に指を引っ掛けます。
- ② スイッチカバーの溝に引っ掛けた指を持ち上げるとスイッチカバーが外れます。
- ③ スイッチカバーが取り付けられていた中に設定スイッチがあります。



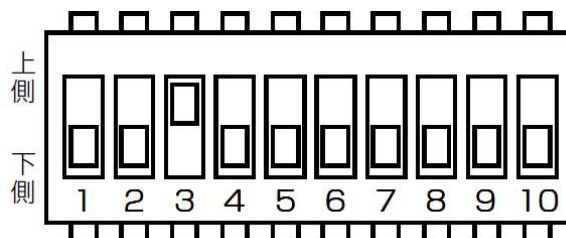
3-1-2 設定スイッチ操作

本機の動作を内部の設定スイッチを操作して各機能の設定をします。
設定スイッチを拡大した図を下記に示します。設定スイッチの操作はペン先など先端が鋭利ではないものをご使用ください。

※下図は工場出荷時の設定スイッチの状態です。

※設定スイッチ 1、8、10 は上側が有効、下側が無効です。

設定スイッチ 2、5、6、7 は上側が無効、下側が有効です。



注意 電源が入ってる状態で設定スイッチを操作しないでください。機能の設定は電源を入れ直すまで反映されません。

3-1-3 設定スイッチ機能割り当て

設定スイッチ 1~10 を操作して各項目を設定します。設定スイッチの機能割り当ては下表になります。

設定スイッチ	項目
1	テストモード設定
2	健康チェック機能設定
3	健康チェック時間設定
4	
5	事前健康チェック機能設定
6	繰り返し案内機能設定
7	熱中症注意喚起機能設定
8	外部接点検出機能設定
9	音量設定
10	消音設定

—テストモード機能設定— (設定スイッチ 1)

設定スイッチ 1 を変更することでテストモードの有効 (上側) / 無効 (下側) を設定できます。テストモードが有効 (上側) の場合、ボタンを押す毎に 1 から順番に 1~8 までの音声ガイドを再生します。初期設定は無効 (下側) です。

※テストモードが有効であるとき、他機能 (健康チェック機能等) は使用できません。通常使用時はテストモードを無効にしてください。

順番	音声ガイド
1	健康チェックの時間です。 お元気でしたらボタンを押してください。
2	健康チェックの再確認です。 お元気でしたらボタンを押してください。
3	電池の残量が減っています。 電池を交換してください。
4	ボタン通知を行います。
5	通信できませんでした。装置を移動させて再度、電源を入れ直してください。
6	健康確認メールを送信します。
7	準備が完了しました。
8	熱中症に注意してください。

—健康チェック機能設定— (設定スイッチ 2)

設定スイッチ 2 を変更することで健康チェック機能の有効 (下側) / 無効 (上側) を設定できます。健康チェック機能が不要な場合は無効にすることができます。初期設定は有効 (下側) です。

—健康チェック時間設定— (設定スイッチ 3、4)

設定スイッチ 3、4 を変更することで、健康チェックの時間を 4 種類のいずれかに変更することができます。設定時間表を以下に記載します。

初期設定は午前 10 時 (設定スイッチ 3 が上側、4 が下側) です。

時間	設定スイッチ	
	3	4
午前 6 時	下側	下側
午前 8 時	下側	上側
午前 10 時	上側	下側
午前 12 時	上側	上側

—事前健康チェック機能設定— (設定スイッチ 5)

設定スイッチ 5 を変更することで事前健康チェック機能の有効 (下側) / 無効 (上側) を設定できます。事前健康チェック機能の有効 (下側) の時は健康チェックの設定時間前にボタンを押すと登録された E メールアドレスにメールを発信します。なおかつ、健康チェックの設定時間になっても「健康チェックの時間です。お元気でしたらボタンを押してください。」と音声ガイドを行いません。

本機能は午前 0 時から使用できるようになります。

初期設定は有効 (下側) です。

—繰り返し案内機能設定— (設定スイッチ 6)

設定スイッチ 6 を変更することで繰り返し案内機能の有効 (下側) / 無効 (上側) を設定できます。繰り返し案内機能の有効 (下側) の時は健康チェックの設定時間を過ぎてもボタンが押されなかった場合、2 時間毎に「健康チェックの時間です。お元気でしたらボタンを押してください。」と音声ガイドを行います (午前 12 時まで繰り返し)。

初期設定は有効 (下側) です。

—熱中症注意喚起機能設定—（設定スイッチ7）

設定スイッチ7を変更することで、熱中症注意喚起機能の有効（下側）/無効（上側）を設定できます。あらかじめ設定された温湿度の条件（設定ソフトにて設定）を超過した場合、「一定の温度を超えました。」「一定の湿度を超えました。」もしくは「熱中症に注意してください。」とお知らせし、登録されたEメールアドレスにメールを送信する機能です。初期設定は有効（下側）で「室内簡易 WBGT 危険（WBGT31℃以上）」のときに通知します。

—外部接点検出機能設定—（設定スイッチ8）

設定スイッチ8を変更することで、外部接点検出機能の有効（上側）/無効（無効）を設定できます。本機のアクセサリポートに外部接続ケーブル（別売オプション：EDS-47）を接続した状態で外部接続ケーブルの端子2線（赤と黒）が導通したときに「外部接点検出メール」を登録されたEメールアドレスに発信する機能です。2線が離れたときには動作しません。初期設定は無効（下側）です。有効にする場合は、設定スイッチ8を上側にスライドします。

—音量の大/小—（設定スイッチ9）

設定スイッチ9を変更することで、音声ガイドの音量を設定できます。初期設定は音量大（下側）です。音量小にする場合は設定スイッチ9を上側にスライドします。大/小の音量は設定ソフトで変更できます。初期値は音量大が12、音量小が4です。

—消音設定—（設定スイッチ10）

音声ガイド等の音が出ないようにする機能です。設定スイッチ10を有効（上側）にすると音が聞こえなくなります。初期設定は無効（下側）です。

4. 設定ソフトの機能と設定方法



[DKSF11_Writer_Alinco]設定画面

- | | |
|-------------|----------------------|
| ① COM ポート選択 | パソコンの USB ポートを選択します。 |
| ② 動作モード設定 | 動作モードを設定します。 |
| ③ 環境状態通知条件 | 環境状態の通知条件を設定します。 |
| ④ 環境状態確認時間 | 環境状態を測定する間隔を設定します。 |
| ⑤ 気温 | 環境状態通知の温度を設定します。 |
| ⑥ 湿度 | 環境状態通知の湿度を設定します。 |
| ⑦ 音量小 | 音量小のボリュームを設定します。 |
| ⑧ 音量大 | 音量大のボリュームを設定します。 |
| ⑨ 設定リセット | 設定をリセットします。 |
| ⑩ SAVE | 設定を保存できます。 |
| ⑪ File | 保存した設定を読み出します。 |
| ⑫ 設定開始 | 設定を本機に書き込みます。 |

4-1 ①COMポート選択

- 本機とパソコンを接続した状態で設定ソフトを起動させると、自動的に表示されます。表示されない場合は下図のプルダウンメニュー（↓）を押して接続先を選択してください。



注意 接続先が表示されない場合は、接続ケーブルをパソコンに接続した状態で、ソフトウェアを立ち上げ直すと、表示されるときがあります。
上記を試しても接続先が表示されない場合は、パソコンのOSが推奨のものかどうか、または設定ドライバーがインストールされているか (P.6「2-4 接続ケーブルのドライバーのインストール」)をご確認ください。

4-2 ②動作モード設定

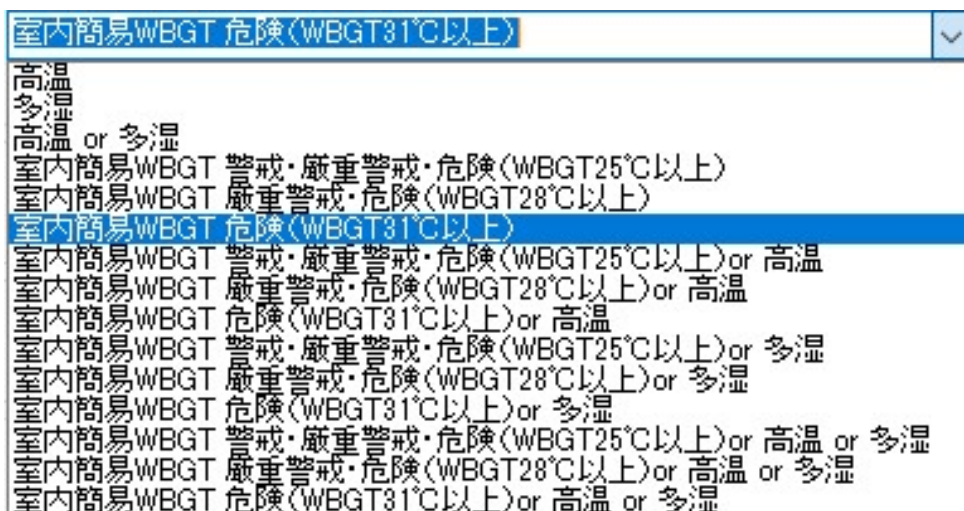
- 本機の動作モードを設定できます。初期設定は“見守り定期便2”です。
見守り定期便2：通常の動作モードです。

温湿度データ収集見守るちゃん：定期的にその時々温度、湿度、本機の電池電圧のデータを登録されたEメールアドレスに発信します。本機のボタンを長押しすることで押した時の環境状態を任意の時間にメールに発信します。メールの発信間隔は本ソフトの④環境状態確認時間で変更できます。

※このモードに設定しているときは本機の健康チェック機能、健康チェック時間設定機能、繰り返し案内機能、熱中症注意喚起機能が使用できません。また、本ソフトの③環境状態通知条件、⑤気温、⑥湿度は見かけ上、本ソフトで設定できますが動作に影響しません。

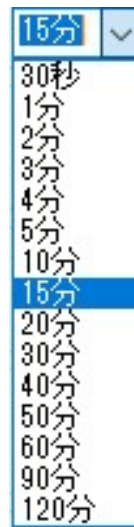
4-3 ③環境状態通知条件

- 環境状態機能の通知条件を選択できます。初期設定は「室内簡易WBGT 危険(WBGT31°C以上)」です。通知条件を高温或多湿に変更すると、気温と湿度について個別に設定ができ、それぞれの設定値を超えると通知を行います。気温と湿度の設定方法はP.13「4-5 ⑤気温」やP.14「4-6 ⑥湿度」をご確認ください。「or」と入っているものを選択するとどちらか一つでも条件が満たされれば通知します。※WBGT(暑さ指数)の詳しい情報は環境省HP「熱中症予防情報サイト」をご覧ください。
※本機のWBGT計測は温度と湿度によって算出される「室内用WBGT指定図(日本生気象学会：日常生活における熱中症予防指針 Ver.4 2022)」をもとに算出しています。屋内での熱中症注意喚起を目的とした簡易的な機能です。



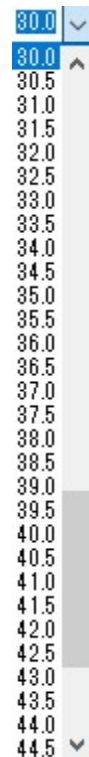
4 - 4 ④環境状態確認時間

- ・環境状態(WBGT・温度・湿度)観測の時間間隔を設定できます。観測は一定の時間間隔で行うため、リアルタイムの状態と異なる場合があります。初期設定は15分です。



4 - 5 ⑤気温

- ・環境状態通知条件の選択に「高温」が含まれているとき、有効になります。-5.0~49.5°Cの間で選択でき、0.5°C刻みで設定できます。初期設定は30.0°Cです。



4 - 6 ⑥湿度

- 環境状態通知条件の選択に「多湿」が含まれているとき、有効になります。5～95%の間で選択でき、5%刻みで設定できます。初期設定は50%です。

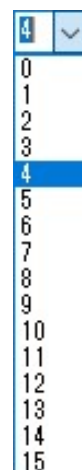


A vertical dropdown menu with a blue border. The top bar shows the number '50' and a downward arrow. The menu is open, showing a list of numbers from 5 to 95 in increments of 5. The number '50' is highlighted with a blue background.

50
5
10
15
20
25
30
35
40
45
50
55
60
65
70
75
80
85
90
95

4 - 7 ⑦音量小

- 本体の設定スイッチ 9「音量の大/小」のうち、「小」の音量を設定できます。初期設定は4です。0に設定すると消音になります。また、⑧音量大よりも大きい値に設定すると「大」の音量よりも大きくなります。

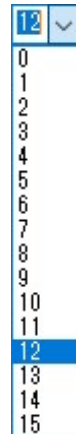


A vertical dropdown menu with a blue border. The top bar shows the number '4' and a downward arrow. The menu is open, showing a list of numbers from 0 to 15. The number '4' is highlighted with a blue background.

4
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15

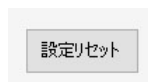
4-8 ⑧音量大

- 本体の設定スイッチ 9「音量の大/小」のうち、「大」の音量を設定できます。初期設定は 12 です。0 に設定すると消音になります。また、⑦音量小よりも小さい値に設定すると「小」の音量よりも小さくなります。



4-9 ⑨設定リセット

- 「設定リセット」を押すと、①COM ポート選択以外の設定がすべて初期設定に戻ります。なお、このボタンは設定ソフトの設定値の初期化になります。⑫設定開始を押さない限り、本機の設定値が変更されるわけではありません。本機の設定スイッチには影響ありません。



4-10 ⑩SAVE

- 設定を保存することができます。この機能の詳しい説明は P.16 「6-1 設定データ保存」をご参照ください。

4-11 ⑪File

- 保存した設定を読み出すことができます。この機能の詳しい説明は P.17 「6-2 設定データ読み出し」をご参照ください。

4-12 ⑫設定開始

- 設定を本機に書き込みます。この機能の詳しい説明は P.16 「5. 設定データの書き込み」をご参照ください。

5. 設定データの書き込み

パソコンと本機が接続ケーブル（ERW-23）に接続されている状態で、本機の電源を入れてください。単三形乾電池2本を本機に入れるか AC アダプターを電源端子に接続すると、本機の電源が入ります。その後、「設定開始」をクリックすると設定を書き込むことができます。

- 注意**
- ・設定書き込みは本機の電源が入ってから 15 秒間のみ書き込み可能です。この間に「設定開始」をクリックしてください。
 - ・この操作をしないと設定ソフトで設定値を変更しても本機には書き込まれません。書き込み忘れにご注意ください。

下図のように表示されると設定の書き込みが完了します。



6. 編集した設定データの保存と読み出し

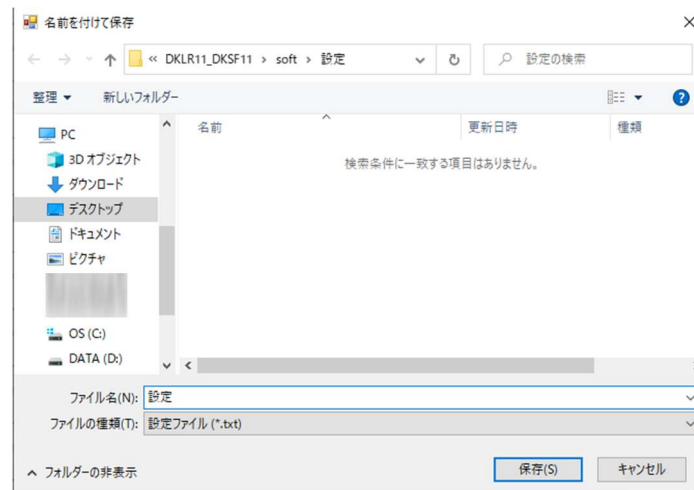
設定ソフトの設定を本体に書き込み終わった後、その設定データを保存することを推奨します。設定ソフトを終了してしまうと、次に設定ソフトを立ち上げたときに設定を初めから行う必要があります。本体の設定を少し変更したいというときに便利です。

6-1 設定データ保存

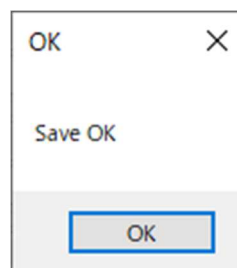
編集した設定データを保存したいときは下図にある[SAVE]をクリックしてください。



[名前を付けて保存]の画面が表示された後、保存場所を指定し、ファイル名を入力してください。その後、画面の左下にある[保存]をクリックすると保存されます。



下図が表示されたら保存完了です。保存場所には txt 拡張子のファイルが作成されます。

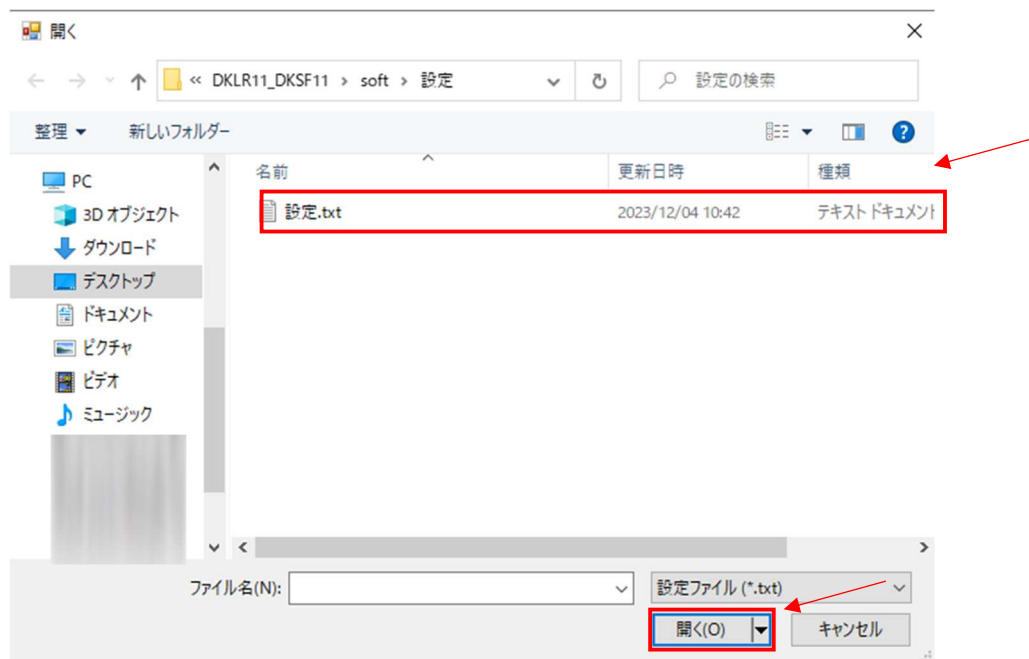


6 - 2 設定データ読み出し

以前に保存した設定データを読み出したいときは、下図の[File]をクリックしてください。



設定データが txt 拡張子で保存されていますので、それをクリックして選択してください。
その後、左下の[開く]をクリックすると、設定の読み出しが完了します。

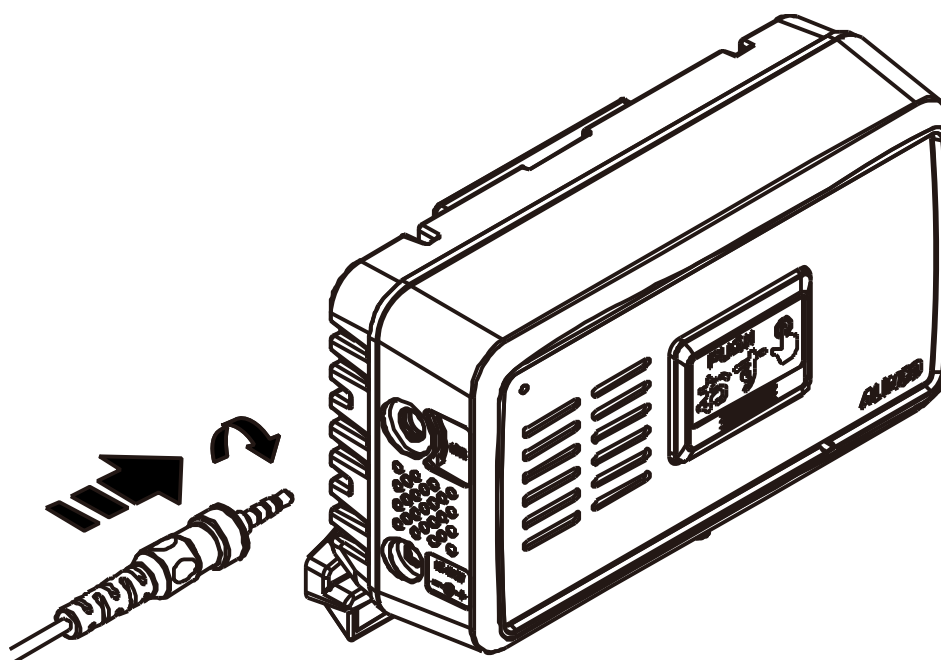


7. 外部接続ケーブル

外部接点検出機能を使用するにはオプションの外部接続ケーブル(EDS-47)が必要です。また、市販のスピーカープラグでは本機のアクセサリポートには接続できません。外部接続ケーブルをご使用ください。

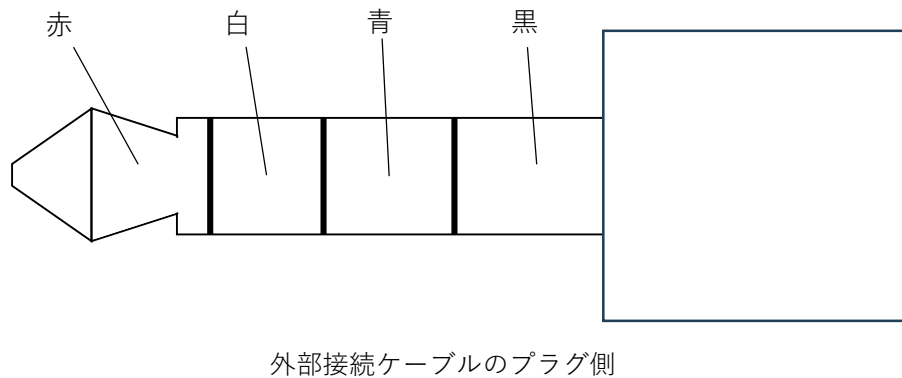
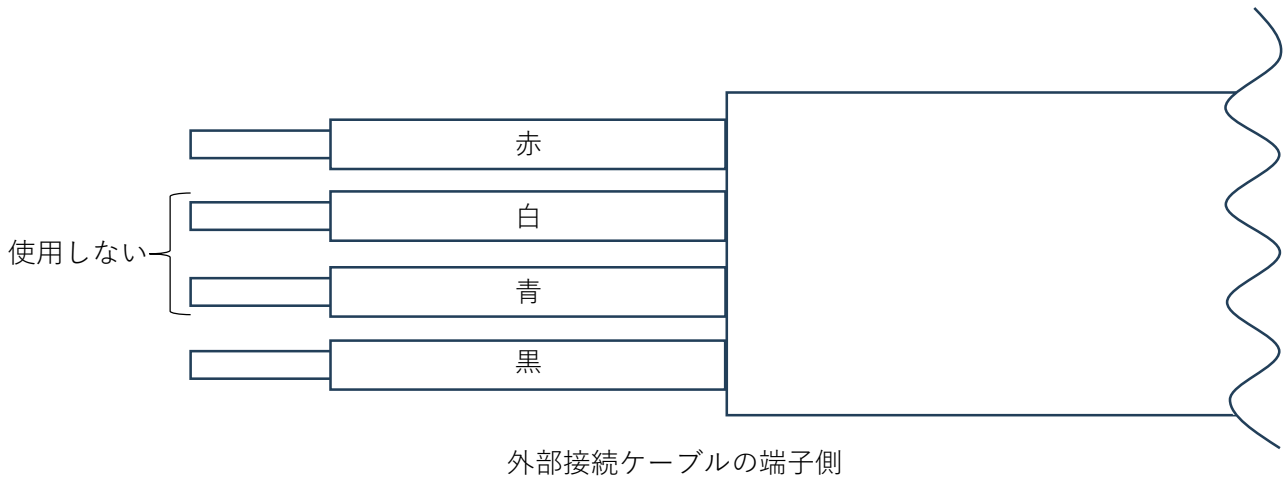
7-1 外部接続ケーブル取付け方法

- ① アクセサリポートに外部接続ケーブルのプラグを差し込んでください。
- ② 外部接続ケーブルのプラグを時計方向(右)に回転が止まるまでねじ込んでください。
差し込むだけでは正しく動作しません。
※取り外すときは反時計方向(左)に回しながら抜いてください。



7-2 外部接続ケーブル仕様

外部接続ケーブルの端子側には赤、白、青、黒色の4点の端子が出ています。赤と黒の端子を加工してご使用ください。白、青の端子は使用しないので端子部分が他の金属に触れないように絶縁テープで覆う等加工してください。



端子割り当て

端子色	役割
赤	外部接点の+側端子
白	なし(使用しない)
青	なし(使用しない)
黒	グラウンド(-端子)

・外部接点検出機能

本体設定スイッチ8を上側にすると外部接点検出機能が有効になり、赤端子と黒端子が導通したとき、登録されたEメールアドレスに発信します。

注意

- ・白色と青色の端子（電線）には他の場所にショートしないように絶縁テープで覆う等加工して対策してください。誤動作や故障、発火の原因になります。
- ・白色と青色の端子（電線）には何も接続しないでください。本体の故障の原因になります。
- ・端子に電圧降下が発生するようなものや電圧供給するものを接続しないでください。正常に動作しなくなることがあります。

8. 故障とお考えになる前に

項目	リトライ方法
設定ソフトの COM ポートが出ない	接続ケーブルをパソコンに接続し、設定ソフトを立ち上げ直してください。
パソコンが接続ケーブルを認識しない	接続ケーブルのドライバーをインストールする必要があります。
本体の電源が入らない	乾電池をご使用の場合は新しい乾電池をご使用ください。
	乾電池と AC アダプターを抜いた後、スイッチカバーを長押ししてください。その後、電源を入れてください。
設定を本体に書き込めない	本体のランプが消灯していたら書き込むことができません。電源を入れ直して、ランプがついている状態で書き込んでください。

9. 最適な設置場所について

本機を設置するに当たって、電波状況のよい場所を探してください。下記のような場所が適しています。

- ・ 窓際
- ・ 高い建物や山などの障害物に面していない場所
- ・ 電子レンジ、無線ルーターなど電磁波を使用する機器が近くにない場所

直射日光が当たる、湿気が多い、温度が0°C以下になる、猛暑日のように暑くなるなどの場所はお避けください。

以上

PW0023
FNFH-NH